

## 2024年問題

**運送会社**・・・ドライバー足りない。厳しい。人手ない。賃金やすい。

意義・・・物流なくして、この国の生活はない

運賃・・・①送料無料という言葉⇒送料は無料でいいかの表現で悪い印象を与える

②物流コストが上昇 ⇒運転手さんは給料上がってよい生活をしている

↓(誤解を生んでいる)

トータルで海外からの物流コストの上昇が真実

実際には賃金は上がってなくて厳しいまま

そこで、

物価が上がって困っているから、ガソリン減税をやって103万円の壁をぶち壊す

↓

運転手さんの給料を増やす、経済を回していく

↓

安全の中で安心して働ける物流業界を、国が創る

運送会社では、時間の使い方を見直し運行管理を徹底して運転手教育を実施して法令順守  
景気が改善してこない事もあって、法令違反が少ないと思われる

**荷主会社**・・・物流効率化法で改革を国から求められる

対策・・・積載率アップ、一人当たりが沢山運べるようにトレーラー化・パレット化

報告・・・特定事業者は、中長期計画や定期報告、物流統括管理者を義務付け

↓

大手事業者に丸投げ・・・下請け会社が増える・運賃上がらない

荷主会社では、パレット化することで積載率ダウンや、リードタイムを伸ばす必要あり

以前より余分なトラック及び倉庫の手配を含め経費の増大あり

保有率が少ないトレーラー化は地理的要因(車庫)、免許保有率、車両投資額等の問題あり

## 運賃値上げ交渉

運送会社・・・標準的運賃、原価計算表が値上げのための武器

物流担当者ではなく経営層と運賃交渉することが効果増大

荷主によって対応の差が激しい

物流子会社は、値上げが難しい

荷物種類によつての運賃値上げの差異は把握できていない